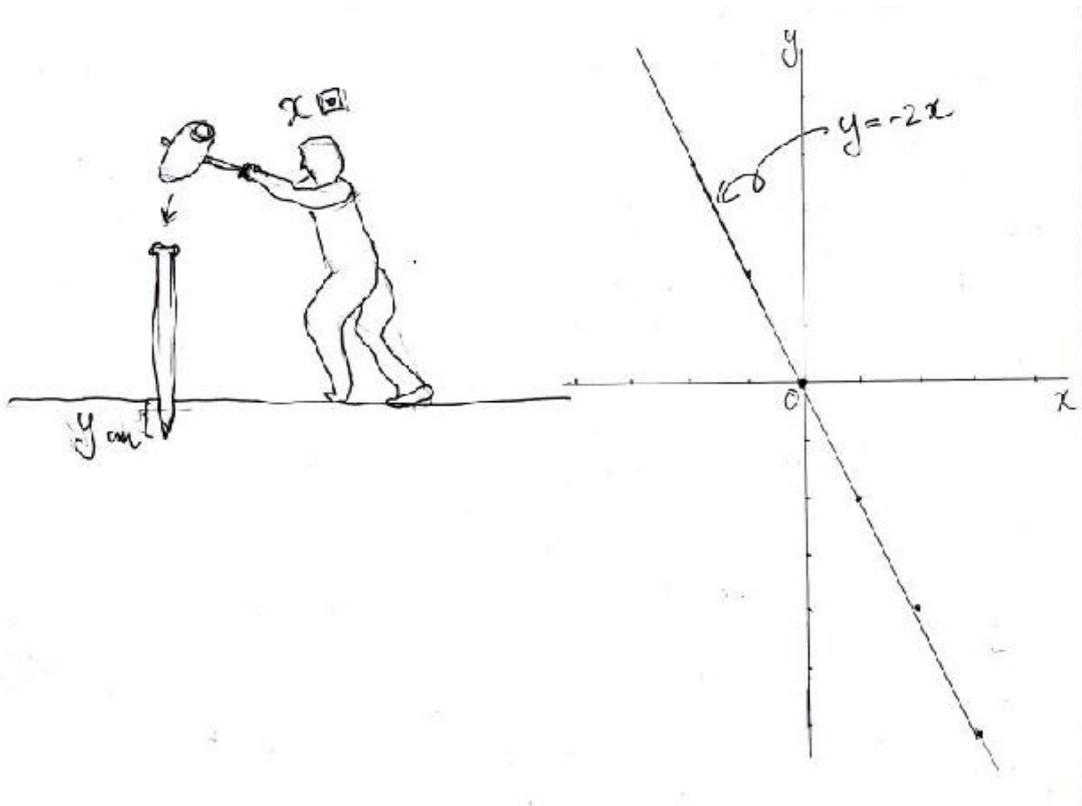


関数  $y = -2 x$ 

こういう言い方をします。これだけでは考えにくいので、  
杉本先生がグラウンドに杭を打つ。1回打つごとに2 cm沈んでいく。  
 $x$ 回打ったときの杭の先の場所  $y$  cmとします。

x	・・・	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	・・・
y	・・・	8	6	4	2	0	-2	-4	-6	-8	・・・

この  $x$  が変わるに対応して  $y$  が変わるようすをグラフに表しましょう。  
グラフ用紙配布



一つ一つの点をマグネットで貼らせていくとよい。

前の時間のグラフと比べてみましょう。

見た感じどんなことが言えますか？ 同じところ、ちがうところ

2分くらい各自で、

同じところを言ってみてください。

- ・直線である
- ・原点を通る

ちがうところ

- ・右下がりである
- ・前は右上がりであった

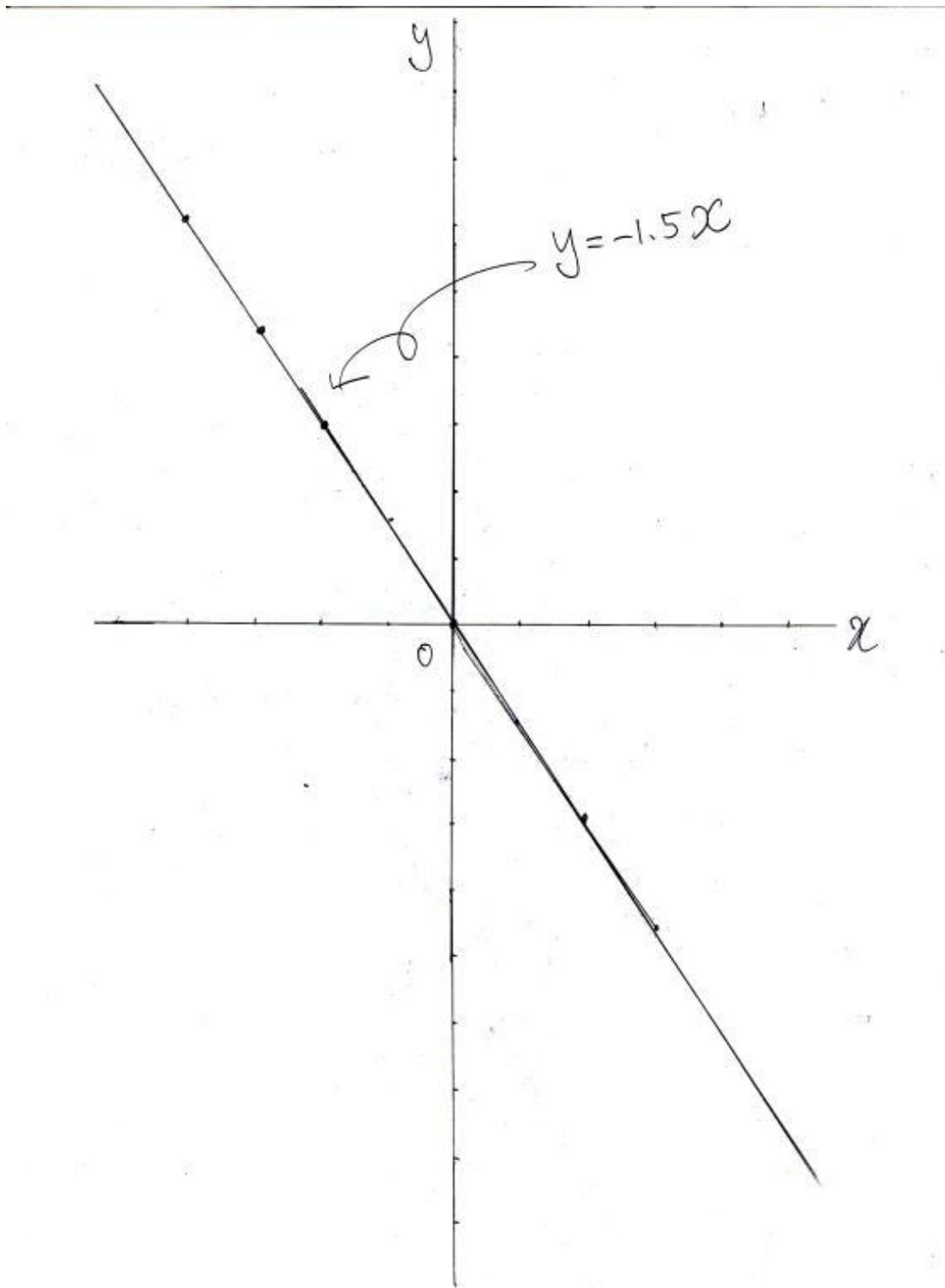
「では  $y = -1.5x$  のグラフはとなると予想しますか？」

○○君的予想

□□君的予想 . . . . . ?

問2 「問2です。問2やってみましょう。」

(グラフ用紙配布)



$y = -2x$  のグラフとよく似ていますがちがいを言葉で言えますか？

「右下がりだけど、少しゆるやか」



傾き君のポーズで確認してみるとこんな感じになります。

教科書P 117 下の水色のところを読んでください。

まとめです。みんなも書いてください。

**関数  $y = ax$  のグラフは、原点を通る直線である。**